

ひとはだれもが個別な素質以外に、成長する過程でその時代や地域の文化的素養を身につけていきます。昨今頻発する国家間の争いは、民族や宗教のほか政治体制の違いなどが原因ですが、互いを認め合うには対峙する側の理解が欠かせません。異文化の基層にある思潮や心的特質を、今年参考館が企画する展示を通して読み取っていただきたいです。
顧問 松田真一

第95回企画展



壺(笏杖を持つ擬人化された神)※部分的贋作
ナスカ文化/ナスカ中期(後300年頃~400年頃) 現代(推定/20世紀)

器にみるアンデス世界—ペルー南部地域編—

2024年4月17日(水)~6月3日(月)

2021年に開催した第86回企画展「器にみるアンデス世界—ペルー北部地域編—」の続編として、ペルー南部地域とボリビアにまたがって栄えた古代文化の土器や木器を展示します。第86回企画展と同様に真作と「贋作」を同時に展示することで、インカ帝国以前に栄えた様々な古代文化の世界観に触れてもらい、それらが現代ペルー社会においては古代とは異なる脈絡で再生産されている様子を観覧していただきます。あわせて、60年以上にわたって日本人研究者が取り組む古代アンデス文明研究の代表例を紹介いたします。

第96回企画展



布留遺跡出土 子持勾玉 古墳時代

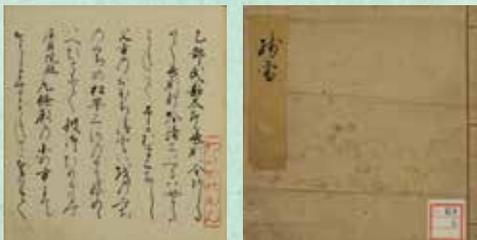
布留遺跡の歴史—物部氏より前から後まで—

7月10日(水)~9月9日(月)

天理参考館の辺りでは、今から1万年以上前の縄文時代から人が暮らしていました。縄文時代早期から晩期にいたる遺構や遺物がみつかっています。そして古墳時代には、古代豪族物部一族がこの地で暮らしました。さまざまな遺構と大量の生活用具や祭具が出土していて、物部氏の隆盛を表しています。さらに中世には豊田氏が立派な居館を構えました。この遺跡を布留遺跡と呼びます。

本展は縄文時代から中世に及ぶ長い布留遺跡の歴史をたどります。

天理図書館 開館94周年記念展



残雪 1冊 季吟自筆 貞享2年(1685)写

芭蕉の根源—北村季吟生誕四百年によせて—

10月23日(水)~12月2日(月)

江戸時代前期、17世紀後半に活躍した北村季吟は、明治時代に到るまで最も読まれた『源氏物語』注釈書である『湖月鈔』を著し、晩年には江戸幕府の和歌指南役である歌学方の初代を務めました。また、俳諧の門弟に松尾芭蕉がいることでも著名です。

折しも季吟生誕400年にあたる本年、季吟と芭蕉の自筆資料を中心に天理図書館所蔵品を紹介いたします。芭蕉前史、そして季吟その人を、書物を通してお楽しみください。

第97回企画展



加彩武人俑 唐時代

墳墓のインテリアデザイン—墳墓観の変遷 漢から唐へ—

2025年1月15日(水)~3月3日(月)

中国大陸では墳墓は死者の「家」という考え方が発達しました。「家」として何をどこまで具体化するかは、時期・地域・民族・社会階層などにより違いがありましたが、宗教・思想や、靈魂観・他界観と絡み合いながら、より適したかたちを求めたデザインがなされました。

本展は、そんな墳墓文化の変遷を、墳墓内面の装飾や室内調度品など「墳墓のインテリア」の「デザイン」という視点から、漢から魏晉南北朝そして唐へとたどり、背景となった墳墓観を紐解く試みです。

2024年度トーク・サンコーカン(学芸員による講演会)

時間: 13:30~15:00 / 会場: 当館地下1階研修室 / 定員: 100名(当日先着順)

開催回	日程	講師	タイトル
第309回	4月24日(水)	荒田 恵	インカってなに?
第310回	6月21日(金)	早坂 文吉	ニューギニア島、アスマット地方の儀礼と木彫造形—木から生まれ木に還る人々—
第311回	7月13日(土)	藤原 郁代	布留遺跡の要点ベスト10
第312回	9月27日(金)	乾 誠二	近畿日本鉄道110年の路線形成 —合併会社を中心に—
第313回	10月11日(金)	中尾 徳仁	中国少数民族の衣装と文化—貴州省・広西壮族自治区を中心に—
第314回	11月22日(金)	梅谷 昭範	シンガポールの詳しい話 —歴史・文化・観光—
第315回	1月23日(木)	江 介也	墳墓のインテリアデザインを考える —漢~唐時代の墳墓観—
第316回	3月14日(金)	幡鎌 真理	万国博覧会の歴史

天理ギャラリー第182回展

日本最大の私鉄110年の軌跡—近畿日本鉄道—

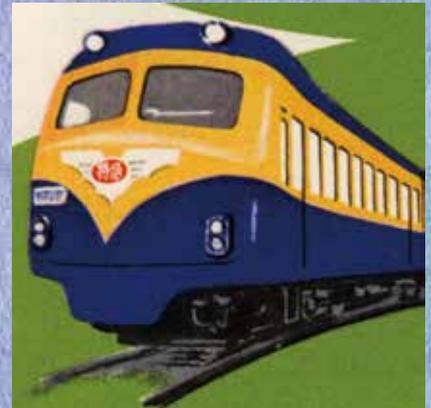
会期: 2024年 I期 9月7日(土)~10月22日(火)

II期 10月26日(土)~12月7日(土)

会場: 天理ギャラリー(東京都千代田区神田錦町1-9 東京天理ビル9階)

近畿日本鉄道の創業路線である奈良線を大正3年に開業して今年で110年を数えます。幾多の合併・再編を経て、大阪府・奈良県・京都府・三重県・愛知県に路線を持つ、日本最大規模の私鉄となった近畿日本鉄道は、近代的な都市間交通としてだけではなく、名所旧跡への重要な交通手段として発展してきました。

本展では乗車券や関連する紙資料を中心に各路線の形成過程をたどり、新規路線開業やM&Aがダイナミックに行われていた頃に光を当てます。日本最大の私鉄黎明期における脈動を感じていただければ幸いです。



「特急ピスター運転記念乗車券」よりピスターイラスト 大阪~三重 昭和33年

テーマごとに学芸員が展示品の解説をします!

- 1 トーク 12:30~12:50 展示室1つのコーナーを説明
- 2 トーク 13:00~13:20 同じコーナーで深掘り解説

- ◆毎月2回、月曜日に開催します(祝日および7/26~8/31を除きます)。
- ◆開催日とトーク1・トーク2の各テーマは、月ごとにイベントチラシ、Webサイト、Xにてお知らせします。
- ◆トーク1あるいはトーク2のみ参加、両方参加、途中参加ができます。参加には入館券が必要です。
- ◆参加日を1回として、スタンプ1つをカードに押します。カードに有効期限はございません。
- ◆参加回数に応じて記念品を贈呈します。

※現在お持ちのスタンプカードは、新カードに移行いたします。ご了承ください。

スタンプトーク
毎月【月曜日2回】
にリニューアル!!

【記念品】

★奇数回 入館券1枚

★6・10・14・18回

お好きな図録1冊(参考館発行)

★22回 A・B・Cから1つ選択

A: 洋食Katsuiお食事券1,000円分

B: キャラメルマーケットお食事券1,000円分

C: 天理カレー2個

開館時間 : 午前9時30分~午後4時30分(入館は午後4時まで)

入館料 : 大人500円/団体(20名以上)400円

小・中・高生300円(学校単位の団体無料・要事前申込)

※障がい者とその介護者各1名は無料となります。障がい者手帳等またはマイロIDをご提示下さい。

天理参考館
寄付のご案内

天理参考館では皆様からの寄付をお願いしております。
詳細は右記のQRコードから専用サイトをご覧ください。



世界の生活文化と考古美術の博物館

天理大学 附属

天理参考館

TENRI UNIVERSITY SANKOKAN MUSEUM

〒632-8540 奈良県天理市守目堂町250番地

TEL 0743-63-8414 FAX 0743-63-7721

URL <https://www.sankokan.jp/>

天理参考館
ウェブサイト

